

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部新産業振興課	関係部課室	
------	-----	-------	-------------	-------	--

政策番号	2 - 4 - 4	政策名	高度な産業技術の普及推進
------	-----------	-----	--------------

施策番号	6	施策名	産学官連携による技術の普及
------	---	-----	---------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

【政策評価指標達成状況から】有効
 ・指標名:先端・基盤技術高度化支援事業における基盤技術高度化支援グループによる産学連携グループ(研究会等)数 達成度A
 ・H17年度の新規事業として取り組んだものである。平成17年4月の基盤技術高度化支援センターの設置、同年6月の県内9大学・高専等との高度化支援に係る相互協力協定の締結などにより、地域企業との産学連携による12の研究会が設置されている。
 ・達成度から、目標に比して有効であったと判断した。

【県民満足度(政策)の推移から】概ね有効
 ・満足度は50点、満足度60点以上の回答者の割合は40%未満であり、概ね有効と判断する。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】有効
 ・生産のグローバル化が進む中、国内生産は高度な技術分野や付加価値の高い技術分野などに限定的になってきている。また、国内では、産業振興の地域間競争が活発になってきており、この地域の学術研究機関の技術を企業に普及させることは、この政策に有効に働いている。

【総括】
 ・県民満足度からは概ね有効と判断したが、政策評価指標は達成し、また社会経済情勢からも施策の有効性が認められるので、施策は有効と判断する。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	重	先端・基盤技術高度化支援事業	6		
2	重	知的財産活用推進事業【平成18年度新規】	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切 概ね適切 課題有

【国,市町村,民間団体との役割分担】適切
 ・(国)企業への技術移転等に関しては、国は「新産業創造戦略」を平成16年度に策定し、先端的な新産業分野等に革新技術(ナノテク、バイオ、IT、環境)を活用し国際競争力を高めることとし、アクションプランを明示し、政策展開する。また、平成14年度の「知的財産基本法」が制定されるなど、知的財産立国に向けた集中的な取組みが行われている。
 ・(県)県は、国の支援策等を活用しながら事業を推進し、中でも、産業技術総合センターは、技術面での企業支援、大学等との連携を推進し、基盤技術高度化センターを設立した。また、平成18年3月に策定した「みやぎ知的財産活用推進方策」を推進していくこととしている。
 ・(市町村)特に役割なし
 ・(団体)産業支援機関である財団法人みやぎ産業振興機構は、県と共同で大学等と企業とのコーディネート活動を行い、研究会設立や設立後のマネジメントを行う。
 ・県として、研究シーズの技術移転とリアルニーズへの二面型推進体制(ダブルエンジン方式)による産学官連携等を推移しており、適切である。

【施策目的を踏まえた事業か】適切
 ・施策目的は、産学官連携による技術の普及であり、目的に沿うものである。

【事業間で重複や矛盾がないか】適切
 ・重複・矛盾は無い。

【社会経済情勢に適応した事業か】適切
 ・生産のグローバル化が進む中、国内生産は高度な技術分野や付加価値の高い技術分野と、かなり限定的になってきている。
 ・国内では、産業振興の地域間競争が活発になってきており、知的財産の活用も重要になっている。
 ・新技術、高度技術の企業への普及は、県としても積極的に取り組むべき分野であり、企業と大学等との連携を進めるこの事業は、時流に適した事業である。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 適切
 ・かい離度は、20となっているが、H17年度から事業化したものであり、施策目的の実現のためには必要な事業であり、推進する必要がある。

【総括】
 ・施策目的、社会経済情勢等から判断して、本施策は適切であり、今後も実績を重ねるため県が関与していくことは適切と判断する。

施策番号	6	施策名	産学官連携による技術の普及
------	---	-----	---------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

<p>【施策満足度から】概ね有効</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業としては平成17年度から開始された。これまでは、関連事業に付随し非予算的に政策評価指標と同様の目標のもと実施してきた。満足度は52.5点、満足度60点以上の回答者の割合は44.3%であり、それぞれの平均「51.5点」「39.4%」を上回っており、概ね有効と判断する。 <p>【政策評価指標達成状況から】有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業ニーズとしても産学連携による技術移転・技術開発に関する要望が高いため、目標として設定した数値を上回る結果となっているものであり、有効と判断する。 <p>【社会経済情勢を示すデータの推移から】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学の連携状況を示す具体的なデータは見あたらないが、生産のグローバル化が進む中、国内生産は高度な技術分野や付加価値の高い技術分野などに限定的になってきている。また、国内では、産業振興の地域間競争が活発になってきており、この地域の学術研究機関の技術を企業に普及させることは、必要と考えられる。 <p>【業績指標推移から】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度から指標設定するものであり判断できないが、これまでの取組みにより今後の効果が期待される。 <p>【成果指標推移から】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度から指標設定するものであり判断できないが、事業化による本格的な取組によりこれまで潜在していた成果が現れるものと期待される。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MEMS等マイクロテクノロジー産業の地元定着や集積、自動車産業関連産業の集積による地域産業のクラスターの展開を推進している。 ・そのためには、単に大学の先端的研究シーズを図るだけでなく、大学等学術研究機関職員等による技術支援をはじめとした県内企業のものづくり基盤技術の高度化支援が不可欠である。 ・また、企業等に移転された技術等を含め、知的財産の創造、保護、活用のサイクルに向けた集中的な取組みが行われている。 ・以上のことから、有効と判断する。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

<p>【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度から指標設定するもので、これまでの推移を確認できないため、判定が不能である。 <p>【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度から指標設定するもので、これまでの推移を確認できないため、判定が不能である。 <p>【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】判定不能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度から指標設定するもので、これまでの推移を確認できないため、判定が不能である。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のとおり、政策評価指標や社会経済情勢のデータ等の推移と、業績指標と成果指標の推移からは判断が不能であるが、平成17年度から指標設定し、初年度の実績から目標を上回っており、その点で効率的であると判断した。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

<ul style="list-style-type: none"> ・B-1 施策目的の達成のための事業の設定は適切である。そのために役割分担に応じて県の事業を展開しており、県の関与は適切である。 ・B-2 施策満足度は平均を上回っており、施策評価指標も上回っており、社会経済状況からも有効である。 ・B-3 平成17年度から指標設定を行っているため、各種指標の推移との関連に関しては今後であるが、政策評価指標を上回る実績・成果があることから、効率的と判断される。 ・B-1～3の各項目を総合的に判断して、適切と判断した。

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部新産業振興課	関係部課室	
------	-----	-------	-------------	-------	--

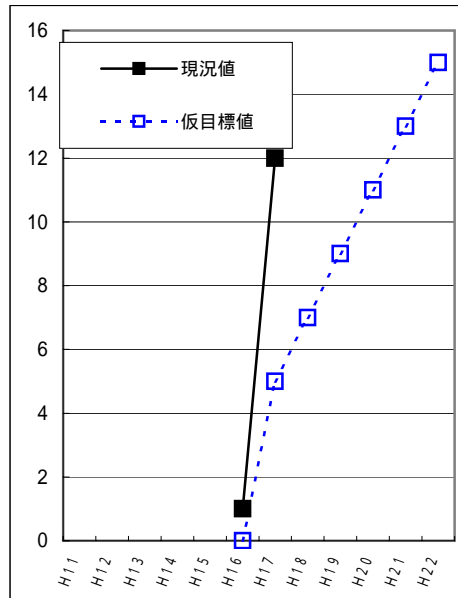
政策番号	2 - 4 - 4	政策名	高度な産業技術の普及推進
------	-----------	-----	--------------

施策番号	6	施策名	産学官連携による技術の普及
------	---	-----	---------------

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位	
先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数		件	
目標値	難易度	H17	5
		H22	15
評価年	初期値	H11	H12
		H13	H14
		H15	H16
		H17	
測定年	H16		
現況値 (達成度判定値)	1		
仮目標値			5
達成度			...
			A

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・県内の企業の基盤技術のさらなる向上のために、市場ニーズを考慮した基盤技術の円滑な企業への技術移転(加工技術の導入、新技術による新製品開発)を実施していくため、産学における連携グループ(研究会等)が持続して増えていくことが必要である。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考:第2~4回の推移	H16	H15	H14			
施策重視度(中央値、点)A	72.5	施策重視度 A	78.5	75	77			
施策満足度(中央値、点) B	52.5	施策満足度 B	59	50	59			
かい離 A-B	20	かい離 A-B	19.5	25	18			
満足度60点以上の回答者割合(%)	44.3	満足度60点以上の回答者割合	48.9	41.2	49.8			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度:A
 ・基盤技術の技術移転(加工技術の導入、新技術による新製品開発)への企業ニーズが高いため。
 ・今後も産学による研究会等の連携グループが持続、増加することが想定される。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]
 ・大学等の研究機関における新技術の企業への移転を図る上では有効な手法であり、適切な指標と考える。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 15

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部新産業振興課	関係部課室	
政策番号	2 - 4 - 4	政策名	高度な産業技術の普及推進		
施策番号	6	施策名	産学官連携による技術の普及		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

<p>[政策評価] 施策群設定の妥当性, 施策群の有効性 ・政策評価指標の目標値を達成するために, 今後も重点的に事業実施していく必要がある。</p> <p>[施策評価] 事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性 ・妥当性, 有効性, 効率性については, 政策目標、施策目標に合致した事業を実施するものであり, 今後, 知的財産の創造・活用・保護を含め, 重点的に事業を実施していく必要がある。</p>

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	-----------	----	----

<p>[方向性の理由] ・MEMS等マイクロテクノロジー産業の地元定着・集積と, 自動車関連産業の集積による地域産業のクラスターの展開を推進しているが, そのためには, 県内の中小企業のものづくりの基盤技術の高度化支援等が必要であり, 「産学官連携による技術の普及」は次年度も特に重点的に取り組むべき施策である。</p> <p>[次年度の方向性] ・県内の中小企業のものづくりの基盤技術の高度化を進め, また知的財産の重要性を認識し, 知的財産の創造・保護・活用等による競争力の強化が必要であり, 「産学官連携による技術の普及」は特に重要であり, 特に重点的に取り組みたい。</p>

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	重	先端・基盤技術高度化支援事業	4,832	拡充	企業と大学等との産学連携による研究会を持続的に立上げ, 企業の当分の基盤技術の向上のための展開を図る。
2	重	知的財産活用推進事業 [平成18年新規]	-	拡充	企業等における知的財産の創造, 保護, 活用という「知財創造サイクル」の確立に向けた事業展開を進める。
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
		合計	4,832		